

I. 目指す学校

東京都市大学グループの一員として、各種連携を図りながら総合的な魅力ある学校づくりや教育活動に励み、生徒自らが成長し、自己実現を自覚できる教育を推進する。この実現のために東京都市大学塩尻高等学校のNEW VISIONとして次の3つを柱とする。

- (1) Evolution - 21世紀型の新しい学校 -
 - * 新校舎を含めた学習環境整備
 - * 国公立大学や難関私立大学への進学実現
 - * 高いレベルでの「技能・技術」教育の実現
 - * 海外研修を含む国際力の育成
- (2) Creation & Dignity - 創造と品格 -
 - * 新しい豊かさを創造し、社会を変革する担い手としての尊厳を持ち、行動力に富んだグローバルリーダーを育成する。
- (3) i-access ~世界と知への道すじ~
 - i** international & intelligence 国際教育
海外との交流活動を通じて語学力・コミュニケーション力を育成し、研究発表など高いレベルの国際力と知性を育む。
 - a** attainment 学力の養成
国公立大学等の難関大学への受験学力を含め、グローバル化の中で世界で通用する高い学力を身につける。
 - c** career キャリア教育
夢を実現し、自らの将来を見据えたキャリアデザインができる力を育む。
 - c** club activity クラブ活動
野球、サッカー、女子バレーボールなど全国の舞台での活躍を誇りに、一人ひとりが清々しく凜とした精神と体力を育む。
 - e** event 特別活動
多様な行事を通じて、友をつくり、支え合い、競い合う豊かな学校に学ぶ、誇りを人生のページに重ねる。
 - s** skill 技能・技術
物事に対して主体的、協働的、創造的に取り組み、リーダーシップやプレゼンテーション能力などを育成する。
 - s** satisfaction 学校生活の充実
一人ひとりの学校生活の充実を教職員全員で支える。

II. 2020年度の目標と方策（抜粋）

【教育設計に関する分野】

■重点課題名：「教育の質向上」

- (1) 新教育課程の編成…学力定着及び高大接続(大学新入試制度)に対応できる教育課程の検討
 - * 2019年度教育課程の運用・検証
 - * 2021年度・2022年度新教育課程の編成
 - ・新コース・新類型、類型変更可能な教育課程、受験力向上のための教育課程の検討
 - * 「トベルサ」（土曜日活用システム）の運用と検証。
- (2) 教員研修の充実
 - 授業づくり研修・教員研修
 - * 特別選抜類型と文理進学類型それぞれの生徒学力にあわせた授業改善。シラバス・ロードマップの作成。

- * すべての専任教職員が最低 1 回は授業力スキルアップのための校外研修を行う。
- * 授業アンケートの分析報告会を受けての教科会研修の実施。各科からの計画提出の義務付け実施。
- * 下記の項目で教職員研修（校内・校外）を実施。
 - ・大学新入試制度研修、ICT活用研修（Classi 含む）、新教務システム研修、*新学習指導要領研修、個人情報保護研修、授業アンケート研修
- * 県総合教育センターや民間団体の研修を利用。
- * 研修一覧を作成し、教職員への周知。本校に取り入れる内容を確認し、成果をチェック。

(3) ICT教育の充実

○教育設計部内に「ICT教育推進プロジェクト」をおき、Classi を推進する。

- * 教職員全員に iPad を配布し、Classi 活用を図るとともに、電子黒板とリンクさせ授業内容の充実を図る。
- * iPad 使用環境の整備工事を実施。
- * 2021 年度新入生に iPad を購入させ、授業展開するための環境整備と準備を実施。
- * ICT 機材に関しての職員研修会を実施（各学期ごとに各教科 1 回の研修会）するための年間計画を作成。
- * Classi の活用研修を実施。

■重点課題名：生徒等の付加価値向上と満足度向上

(1) 不登校生徒対応

- * 学年会主導での面談体制の継続…担任の生徒指導力向上
 - ・学年主任による担任の面談実施記録を確認。保護者との連絡記録確認。
 - ・生徒指導
- * クラス運営と人間関係の把握に努める。LHR、フレッシュマンワークの内容を学年会と協力し作成。
- * カウンセラー、外部機関との連携を積極的に行う。担任と学年会で 1 人ひとりの状況を確認し対応策を検討。

(2) 資格取得率の向上

- * 英語検定、GTEC、数学検定、漢字検定、語彙読解力検定等の集約を行い、学年及び職員に周知を行う。（全検定合格者のべ人数 243 名以上）
- * HR での定期的な資格取得調査を実施する。
- * 数学検定の受験を意識した取り組みを行い、特別選抜類型理系生徒の全員受験を目指す。

(3) 生徒・保護者の満足度向上…保護者満足度 90%

①生徒活動の様子を発信…魅力ある学校生活や授業内容を発信

- * 学校通信として、本校保護者に本校生徒の取り組みを発信。

②下記(ア)~(ウ)のアンケート項目を目標に照らし合わせた項目に変更する。

(ア)新入生アンケート(イ)新入生保護者アンケート(ウ)卒業生アンケート(エ)授業アンケート

- * 地区 PTA、PTA 行事より意見の吸い上げ
- * アンケート結果より、第 2 期事業計画への具体的施策に反映する。

③教員の指導体制

- * 教育課程の編成によってどのように生徒との面談時間が取れたのかを検証（学期ごとに職員アンケート実施）し、改善を提案する。

【進路指導に関する分野】

■重点課題名：生徒等の付加価値向上と満足度向上

(1) 大学合格目標(国公立大学・私立大学)

- * 国公立大学合格：25名…内、信州大学5名
- * 私立大学合格：160名以上…都市大18名以上、GMARCH以上5名、日東駒専10名
- * センター試験受験数：170名

○学習指導として下記企画の実施

- (1) 学習支援センター：意欲を持って生徒が利用できるように改善。
- (2) 予備校講座：3学年は継続。新たに1・2年生を対象とした小論文講座を開講。
- (3) ウイングネット講座：個々の受験科目に応じて放課後や自宅で動画学習できる環境を整備。
- (4) 朝テスト(AD-T)：基礎力の定着。
- (5) Step by Step 講座：1・2年生対象、放課後に国公立大学・難関私立大学受験コースとチューターサポートコースに分けて進学基礎力養成を行う。
- (6) 受験対策講座：3年生対象、放課後及び長期休業中の共通テスト及び国公立個別試験・難関私大の対策講座
- (7) 学習合宿：長期休業中に学習習慣養成講座を実施。
- (8) 小論文指導：1・2年で外部指導者・模試を活用。
- (9) Classi 講座：スマホで受講可能な講座を紹介。
- (10) 学生チューター：1・2年生の学習サポート。
- (11) 個別指導の充実：苦手科目がDゾーンの生徒を個別指導。

○進学指導の各種対応

- * 国公立大合格戦略会議を実施。
- * ATZプロジェクト、Kプロジェクト会議の実施。
- * 進路指導個別面談を実施。
- * 全国模試の実施。
- * 大学入学共通テスト受験対策：受験対応の特編授業の早期実施。
- * Classi：素早い情報伝達やアンケート調査の実施

(2) キャリアセンターの充実とキャリア教育の完成

①就職内定率目標100%

- * ヤングハローワーク松本・塩尻市・塩尻商工会議所との連携。
- * 目標に向かって学習できる体制の強化。
 - ・志望理由書の指導と添削、成績が特に振るわない生徒対象に個別学習指導
- * 指導の充実及び情報提供。
 - ・企業訪問、企業見学・インターンシップ、生徒・卒業生への就職情報提供。
- * 進学・就職の体験的な学習機会（インターンシップ・体験学習・出張講義・出前授業など）を計画。
- * 社会と生徒の接点を増やし、より満足度の高い進路実現を図る。

【生徒活動に関する分野】

■重点課題名：生徒活動の活性化

(1) 部活動の活性化と強化部の拡大

- ①部活動加入率を全校で90%以上とする。
- ②現行の強化部は全国制覇を目標とし、新たに文化系部活動を含めて準強化部をおく。
- ③強化部を含め、全国レベルの大会出場を5団体、北信越レベルの大会出場を10団体、半数以上の部活動は県大会レベルに出場。
 - * 昨年に続いて生徒活動部内に「クラブ活動活性化プロジェクト」をおき、強化部の全国大会出場・上位成績を上げるための戦略（技術指導、指導者や顧問・コーチの対応、優秀な選手獲得のための生徒募集）を計画する。
 - * 2020年度募集より新たに準強化部2部（ソフトテニス部・ラグビー部）を指定した。これらの部を支援し全国大会出場チームに育てる。
 - * 他の部活動に於いても、まずは生徒ニーズの多い部活動（バドミントンなど）に専門家の外部指導者を招き、生徒募集ともリンクしながら活性化を図る。
 - * 文化部活性化のために昨年度に引き続き吹奏楽部に専門の外部指導者を招いて指導を強化する。
 - * 昨年の課題から、クラブ加入率向上のためには、上級学年で退部してしまうことを食い止めることにある。それには、毎週火曜日の「クラブの日」を定着させ、顧問教員がクラブ指導をする時間を確保することである。学校全体で検討し具体策を提案する必要がある。
 - * 部活動加入率を特別選抜類型と文理進学類型に分けて考え、特に文理進学類型の生徒を対象に「クラブ活動の大切さ（生徒達の間力、対人関係力、基礎体力などの向上）」を粘り強く伝え、クラブへの意識を向上させる。

(2) 生徒会活動の活性化

- ①生徒会本部・各委員会で生徒が主体となる企画の運営
- ②ボランティア活動の推進
 - * 生徒の自主性を育む行事（文化祭、体育祭、文化系発表会）を開催し、生徒の主体的取り組みで達成感と誇りを育成する。
 - * 文化祭での学年発表・クラス発表を実施し、学年やクラスでの文化活動を活性化する。
 - * 地域ボランティア活動（公園や河川、通学路の清掃や植栽活動）に取り組み、地域から信頼される学校を目指す。
 - * すべての生徒の居場所づくりのために、生徒が自主的に取り組める魅力あるクラス・学年・学校行事の計画。

(3) 生徒指導

- * 「創造と品格」を繰り返し説諭することにより生徒の理解を促し、高校生らしい清潔感のある装いを整えさせ、より一層品格あるものとする。
- * 日常指導に加え、月1回の身だしなみ検査、朝・夕の立門、通学路・駅前指導を実施する。
- * 日常時・授業時・職員室入退室時における挨拶や校内外でのマナー指導を徹底し、挨拶の習慣を身に付けさせる。
- * 全教職員が授業規律（開始前用意、挨拶、取組姿勢）の共通認識を持ち、授業に真剣に取り組める環境を構築する。
- * 情報モラル、性教育、交通安全などの講話を実施する。
- * 各学期1回のいじめアンケート実施により、悩んだり困ったりしている生徒の把握、いじめの早期発見に努める。
- * ホームルームや学年・全校集会において、人権教育や情報モラル教育に取り組み、生命の尊さや多様性を受容する態度を育み、いじめや暴力、差別のない学校を目指す。
- * 段階的規範指導を継続しながら、担任・教師集団の生徒指導スキルを向上させる。

【探究・国際に関する分野】

■重点課題名：「教育の質向上」と「国際化（国際的に活躍できる人材の育成）」

（1）探究活動の推進

○探究これまでの探究の取り組みを踏まえ、さらに充実させた活動を行う。

- * 1年生：大学研究者や関連機関との連携による地域の課題解決型研究の実施に向けた教育内容の具現化
- * 2年生：大学研究者や関連機関との連携によるグローバルな課題解決型研究の実施に向けた教育内容の具現化
- * 3年生：国公立大学の推薦入試にも対応した高度な研究を行い、進路実現も兼ねた取り組みを行う。

・研究論文集の作成、研究成果の外部発信、研究成果と進路実現とのマッチング

○具体的な取り組み

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| (1)大学研究者・関連機関講演(年4～5回) | (2)哲学カフェ |
| (3)文化祭研究発表 | (4)西の子サマースクール学習ボランティア |
| (5)木曽路観光ボランティア | (6)フィールドワーク |
| (7)塩尻市起業家育成プログラム | (8)高校生プレゼンテーション大会 |
| (9)県議会主体性を育む学び発表 | (10)極地研究所サイエンスカフェ |
| (11)起業家カンファレンス | (12)学びみらい PASS |

（2）国際的に活躍できる人材の育成

①国際教育の改善と推進

○現在のプログラムを強化。

- ・イングリッシュシャワー：延べ人数 120 名目標
- ・イングリッシュ キャンプ：延べ人数 30 名目標
- ・フィリピン語学研修：延べ人数 20 名目標
- ・留学生との交流

○以下の活動は、新型コロナウイルス感染拡大状況により、延期または中止の可能性がある。

- ・毎月約 2 回信州大学留学生チューターを招き、文化の紹介や英語で日常の話題について話す講座を開講。
- ・Tokyo Global Gateway に1日滞在し、オールイングリッシュで海外疑似体験を実施。
- ・8月または3月にフィリピン語学研修を実施。
- ・留学生がクラスに滞在し交流。

②オンライン英会話（全学年） 登録人数 150 名目標

- ・今年度は、国公立難関私大コースの生徒も対象に放課後に週 2 回実施。

③交換留学の実施等 海外協定校との交流活動の推進。

- (1)中国上海市甘泉外国語中学校との交流。参加者 13 名目標
- (2)フィリピン CPU(Central Philippine University)附属高校との交流 参加者 20 名目標
- (3)カナダ Fieldstone School への留学 参加者 1 名目標
- (4)オーストラリアの高校と姉妹協定の締結 参加者 10 名目標

④海外大学 指定校への進学指導 他の海外大学への進学指導の研究

- ・フィリピンのエンデラン大学指定校への進学指導を実施。海外大学への進学指導を研究。

⑤留学生（長期）の受け入れ 1 名目標

- ・留学取り扱い機関である AFS やライオンズクラブなどを通し、留学生の受け入れを実施。

⑥海外からの訪問団体受け入れ 受け入れ団体 2 団体目標

- ・長野県観光機構や松本地域振興局などを通して、海外からの訪問団体の受け入れを実施。

⑦海外からの訪問学生受け入れ 受け入れ人数 1 名目標

⑧海外で活躍する実業家などによる講演会 開催目標 1 回